

大阪大学グローバルCOE「コンフリクトの人文学 国際研究教育拠点」プログラム
プロジェクト名：「歴史」をめぐるコンフリクト アンデス地域の「過去」と「現在」
[代表者：大学院人間科学研究科教授 染田秀藤]

第9回ワークショップ

スペイン支配と先住民共同体

ーコンフリクトの過去・現在・未来を読むー

日時：2009年10月31日(土) 1:30~5:00PM

場所：国立民族学博物館(吹田市万博公園内)4階大演習室(4073号室)

聴講自由

*発表者と報告タイトル

姉崎 正治(大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程)

旧スペイン領アメリカにおける銀鉱業と水銀汚染
過去・現在・未来

小山 朋子(大阪大学外国語学部非常勤講師)

スペイン支配下のアンデス先住民共同体にみる社会構造の変容とその歴史的意味
17世紀チュクイト地方のアコラを中心に

問い合わせ先：大阪大学大学院人間科学研究科染田秀藤研究室
(0727-30-5422 ; someda@hus.osaka-u.ac.jp)

(予告) 国際シンポジウム「アンデス言説をめぐるコンフリクト」

2009年12月8日~10日 国立民族学博物館&大阪大学大学院人間科学研究科コメンヌホール
海外から7名のアンデス研究者を招いてコンフリクトの学際的研究への道を探る